東京工業大学
Tokyo Institute of Technology
環境・社会理工学院

東京工業大学産学協働プログラム
「人生 100 年時代の都市・インフラ学」
特別シンポジウム

人生100年時代の
思考と試行

新しいアイデアやイノベーションは、必ずしもいまある世の中の問題解決から直接的に導かれるわけではありません。むしろ、社会を大きく変革するような新しいアイデアは、「こうあったらいいな」という自らの「妄想」から生まれることが少なくありません。しかし、どうすれば妄想を妄想のままで終わらせずに、現実の「未来」を変革するものへと昇華させることができるでしょうか。
人生 100 年時代の都市・インフラは、あらゆるライフシーンの「イノベーション」を求めています。本シンポジウムでは、時代の変化を先取りする思考のフレームと新しいアイデアを形にする試行のフレームをもとに、自らの妄想からイノベーションを生み出し、人生 100 年時代を豊かにしていく道筋を考えます。

10月19日 2021年 (火)
16:00~19:00
東工大会場 + オンライン開催

お問い合わせ：事務局　清原 康代
kiyohara.s.aa@m.titech.ac.jp
TEL: 03-5734-2260

16:00-16:10　ご挨拶　東京工業大学　学長　益一哉
16:10-17:10　基調講演「妄想する頭　思考する手（仮題）」
東京大学大学院　情報学環　教授　暦本純一 様
17:10-17:20　ワークショップ成果の報告　東京工業大学　特任助教　坂村圭
17:20-17:35　休憩
17:35-18:50　パネルディスカッション
清水建設株式会社　技術研究所　主任研究員　松本隆史 様
東京工業大学　環境・社会理工学院　教授　辻本将晴
東京工業大学　環境・社会理工学院　准教授　室町泰徳
東京工業大学　環境・社会理工学院　教授　野原佳代子
18:50-19:00　統括　東京工業大学　教授　中井検裕

益一哉

暦本純一

松本隆史

辻本将晴

室町泰徳

野原佳代子

中井検裕

シンポジウム登壇者

暦本純一

情報科学者。東京大学情報学環教授、ソニーコンピュータサイエンス研究所フェロー・副所長、ソニー CSL 京都ディレクター。世界初のモバイル AR(拡張現実) システム NaviCam を 1990 年代に試作、マルチタッチの基礎研究を世界に先駆けて行うなど常に時代を先導する研究活動を展開している。現在は、Human Augmentaion(人間拡張) をテーマに、人間と AI の能力がネットワークを越えて相互接続・進化していく未来社会ビジョン Internet of Abilities (IoA) の具現化を行っている。iF Interaction Design Award(2000)、日本文化デザイン賞 (2003)、日経 BP 技術賞 (2008), 日本ソフトウェア科学会基礎科学賞 (2014), ACM UIST Lasting Impact Award(2014, 2017) などを受賞。2007 年に ACM SIGCHI Academy に選出される。

松本隆史

清水建設株式会社技術研究所未来創造技術センターデジタル X グループ主任研究員。同社にて、建物・街区のデジタル化に関する UI/UX デザインおよび建築アーカイブの研究に従事。シンガポール国立大学スクールオブコンピューティングシニアリサーチフェロー、九州大学高等研究院助教などを経て、2018 年より同社研究員。九州大学大学文書館協力研究員。博士（政策・メディア）。

辻本将晴

2005 年慶應義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程修了（博士（政策・メディア）。東京工業大学環境・社会理工学院イノベーション科学系・技術経営専門職学位課程教授（系・課程主任）。2011 年東工大挑戦的研究賞受賞。2014 年から 2015 年ハンブルク工科大学客員教授、2017 年、2019 年から 2020 年スイス連邦工科大学（ETH Zurich, Chair of Entrepreneurship）アカデミックゲスト。日本 MOT 学会理事、編集委員長。イノベーションデザイン・プラットフォーム（IdP）代表。

室町泰徳

東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授。交通計画・都市計画・気候変動。東京大学にて博士（工学）。東京大学助手、同大学講師、フィリピン大学交通研究センター客員教授 /JICA 専門家などを経て現職。IPCC 第 4 次評価報告書第 3 作業部会『気候変動の緩和策』執筆者。編著書に『運輸部門の気候変動対策』（成山堂 2021）など。

野原佳代子

東京工業大学 環境・社会理工学院 教授。翻訳学・コミュニケーション論・言語学。オックスフォード大学にて博士号（翻訳学）、修士号（歴史学）。同大学講師、学習院大学助手、ルーヴェンカトリック大学研究員等。東工大 WRHI サテライトラボ STADHI を主宰し科学技術 x アート学際研究を牽引。著書に『ディスカッションから学ぶ翻訳学』（三省堂 2014）など。

東工大産学協働プログラム「人生 100 年時代の都市・インフラ学」とは

人生 100 年時代の人の「幸福」とは何なのか?

人生 100 年時代を支える都市やインフラはどのようにあるべきか?

人生 100 年時代の人の暮らし方、働き方、学び方はどのように変わっていくのか?

都市・インフラ領域で世界をリードするためには、近未来に向けて、我々は何をすべきか?

「人生 100 年時代の都市・インフラ学」は、東京工業大学環境・社会理工学院の教員スタッフと 20 社を超える民間企業との協働プロジェクトです。東京工業大学の多様な領域の知見に加え、広く社会の知見を融合し、未来の都市・インフラのあり方を議論しています。

会員企業

HEBEL HAUS ALL for LONGLIFE
株式会社アール・アイ・エー
大林組
okamura
100年をつくる会社 鹿島
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES
KUME SEKKEI
株式会社 佐藤総合計画
子どもたちに誇れるしごとを。 清水建設
大成建設 For a Lively World
想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA
東急不動産ホールディングス
戸田建設株式会社
TOYOTA
西松建設
株式会社 日建設計
NIHON SEKKEI
Orchestrating a brighter world NEC
JR東日本グループ
三井不動産 MITSUI FUDOSAN
三菱地所
森ビル MORI BUILDING